

緑が丘

校訓
「ゆたかさ・たしかさ・たくましさ」
学校教育目標
「認め合い、学び合い、高め合う生徒の育成」

平戸市立田平中学校
学校だより第 7号
(令和5年6月)
文責 西澤 庄藏



球技・武道競技が行われ、最後まであきらめない態度に惜しみない拍手がありました。

5/28(日)市内各地にて平戸市中学校総合体育大会球技・武道競技が開催され、本校の関係部活動【女子バレーボール・男女ソフトテニス・卓球・軟式野球・サッカー・剣道・柔道】生徒も参加しました。このほかの生徒は本校会場の女子バレーボール競技と学校から移動して校区内会場の男子ソフトテニス競技を(吹奏楽部のみ、演奏のため、軟式野球競技を)応援しました。

私は、サッカー競技の会場に責任者として携わっていた関係上、ほかの会場で応援することができませんでした。どの競技も多くの方々にご観覧いただいたとのことでした。競技そのものも、選手の試合に臨む態度はもちろん、応援態度もマナーを守り、スムーズな進行だったとのことでした。

結果、男女それぞれのソフトテニス競技、剣道競技【女子】、柔道競技で県大会(団体)出場権を獲得する顕著な成績を収めました。また、男子ソフトテニス競技の濱崎さん(3-1)・後藤さん(3-1)、剣道競技【女子】の関さん(2-1)、柔道競技の加藤さん(1-1)、福海さん(1-2)も県大会出場権を獲得しました。惜しくも頂点を逃した団体・個人がほとんどですが、「コロナ」明けでもあり、スポーツができる喜びを精一杯表現できた大会となりました。

惜しまれつつも、一大スポーツイベントが終了しました。次は来週6/13(火)陸上競技です。



サッカー競技から
ライフカントリーにて



吹奏楽部演奏から
赤坂野球場にて

市中総体【球技・武道】前の選手激励会も圧巻でした。「伝統継承」も実感できました。

5/23(火)市中総体(球技・武道)を目前に選手激励会を実施しました。吹奏楽部の生演奏あり、選抜生徒の応援ありの「激励会」の名にふさわしい活動で、力強い生徒の姿を垣間見ることができました。選手の晴れ舞台は競技そのものですが、ユニフォーム姿も凛々しく、もう一つの晴れ舞台を見た思いです。かつて「中体連」と呼ばれていたころから重んじられた、この一大行事である市中総体へ懸ける多くの人々の思いを汲み取ったひとときでもありました。中でも選抜生徒によるエールの掛け声は、これこそ激励ぶりを体現していて、「伝統継承」を強く感じました。



懸命な応援姿勢に、心打たれました。

【保護者の皆様へ】 本校教職員の異動について (お知らせ)

6/6付けで岡田事務職員が途中退職になります。岡田先生におかれては、本校勤務1年2か月で、惜しまれつつの退職となります。これまで、学校備品の管理業務、学校環境の整備業務など、生徒支援にもご尽力いただきました。このたび、「退職」という形ですが、新たな勤務校・市内山田小学校で養護助教諭として勤務されることとなります。(生徒には今週の全校集会をお別れの場とさせていただき)保護者の皆様にはこの紙面をもって、ご報告とさせていただきます。

なお、後任の事務職員については、退任・着任前でもあり、次号で紹介する予定です。